

追加型投信／内外／債券

グローバル・ソブリン・オープン(資産成長型)

愛称：**グロソブN**

グローバル・ソブリン・オープン (毎月決算型)



Global
Sovereign
Open

ファンドに係るリスクについて

基準価額は、組入有価証券等の値動きや為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。したがって、投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。

ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「為替変動リスク」や「金利変動リスク」等があります。

※くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドに係る主な費用について

ファンドへの投資に伴う主な費用は以下の通りです。

- 購入時手数料
- 信託財産留保額
- 運用管理費用(信託報酬)
- その他の費用・手数料

販売用資料

本資料は投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。
お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

● お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

● 設定・運用は



RESONA

りそな銀行

株式会社りそな銀行
登録金融機関
近畿財務局長(登金)第3号
加入協会:
日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会

埼玉りそな銀行

株式会社埼玉りそな銀行
登録金融機関
関東財務局長(登金)第593号
加入協会:
日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会

近畿大阪銀行

株式会社近畿大阪銀行
登録金融機関
近畿財務局長(登金)第7号
加入協会:
日本証券業協会



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第404号
加入協会:
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの目的

グローバル・ソブリン・オープン(資産成長型)愛称:グロソブN

高水準かつ安定的なインカムゲインの確保とともに信託財産の十分な成長をはかることを目的として運用を行います。

グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)

高水準かつ安定的なインカムゲインの確保とともに信託財産の成長をはかることを目的として運用を行います。

ファンドの特色

■ 共通の特色

グローバル・ソブリン・オープン(資産成長型)愛称:グロソブN

グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)



世界主要先進国の、信用力の高いソブリン債券を主要投資対象とし、国際分散投資を行います。

ポイント① 世界主要先進国

- 世界主要先進国は、OECD加盟国とします。
OECD(経済協力開発機構)は、国際経済全般について協議することを目的とした国際機関です。
- 世界主要先進国のソブリン債券は、社債や新興国債券等に比べ相対的に価格変動リスクが抑えられ、流動性にも優れているため、安定した投資成果を目指した資産運用に適していると考えられます。
- OECD非加盟国のうち、三菱UFJ国際投信がOECD加盟国に相当する経済実態を有すると判断する国のソブリン債券に投資することがあります。

ポイント② ソブリン債券

各国の政府が発行する**国債**や政府機関が発行する**政府機関債**等をいいます。
また、世界銀行やアジア開発銀行などの国際機関が発行する**国際機関債**のほか、当ファンドにおいてはカナダ、オーストラリアなどの**州政府債**もソブリン債券に含まれます。

ポイント③ 高い信用力

格付けの例

	Moody's社	S&P社
高い	Aaa	AAA
	Aa	AA
	A	A
	Baa	BBB
	Ba	BB
	B	B
	Caa	CCC
	Ca	CC
	C	C
低い	-	D

A格以上の信用力の高い債券に投資します。

- ・原則としてMoody's社、S&P社等の格付け機関のうち、少なくともひとつの格付け機関においてA格相当以上の格付けを付与されたものに投資します。
- ・格付けとは、債券などの元本や利子が、償還まで当初契約の定め通り返済される確実性の程度を評価したものをいいます。
格付け機関が、債券などの発行者の財務能力、信用力、今後の方向性などを分析、評価して、数字や記号で簡潔に表します。

特色2 安定的な利子収入の確保と、金利・為替見通しに基づく運用戦略により、収益の獲得を目指します。

◆シティ世界国債インデックス(円ベース、日本を含む)をベンチマークとします。

シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスで、1984年12月末を100とする世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額比率で加重平均し、指数化したものです。ベンチマークを上回る投資成果をあげることを目指し運用を行いますが、これを保証するものではありません。

◆ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社のアドバイスを受け、運用を行います。

ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー(本部所在地:米国カリフォルニア州)の日本拠点です。

資金動向や市況動向等によっては、特色1、特色2のような運用ができない場合があります。

異なる特色

グローバル・ソブリン・オープン(資産成長型) 愛称:グロソブN

特色3 信託財産の十分な成長に資することに配慮し、収益の分配を行わないことがあります。

◆毎年11月17日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

収益分配方針

- ・ 分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ・ 委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して、利子・配当収入の中から分配金額を決定しますが、信託財産の十分な成長に資することに配慮して分配を行わないことがあります。

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。また、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)

特色3 毎月決算を行い、収益の分配を行います。

◆毎月17日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

収益分配方針

- ・ 分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ・ 委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して、利子・配当収入を中心に分配金額を決定します。

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。後記「収益分配金に関する留意事項」をご覧ください。

■ファンドのしくみ ファミリーファンド方式により運用を行います。

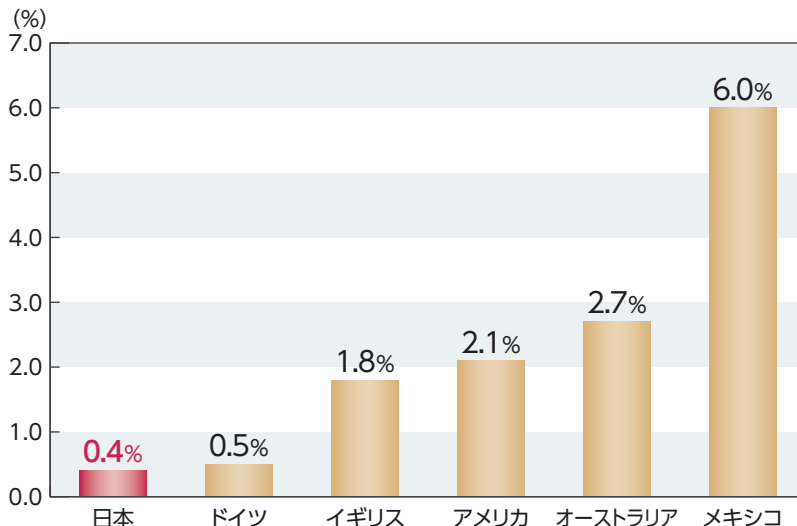
ファミリーファンド方式とは、受益者から投資された資金をまとめた投資信託をベビーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して、マザーファンドにおいて実質的な運用を行う仕組みです。

先進国ソブリン債券投資の魅力

日本よりも高い外国債券の利回り

外国債券の利回りは日本と比較して相対的に高い水準にあります。そのため、こうした国々への「国際分散投資」が有効と考えられます。

■ 各国10年国債の利回り(2015年5月29日現在)



上記の利回りは、各国の自国通貨建国債の利回りを使用しています。【出所】Bloomberg

中長期投資による利子収入(クーポン収入)の積み上げ効果

先進国国債を中長期保有することで利子収入(クーポン収入)が積み上がり、為替や債券価格の変動による損益のブレをカバーする効果が期待されます。

■ 先進国国債の投資収益の要因分析 (1997年12月~2015年5月、月次)



上記は、当ファンドの実績ではなく、1997年12月を100ポイントとして指数化したシティ世界国債インデックス(円ベース、日本を含む)を「総投資収益」とし、これを三菱UFJ国際投信の計算により月次で「利子収入要因」と「価格変動要因」に分け、それぞれを累積したものです。なお、「利子収入要因」は、各月の利子収入(経過利子を含む)を当該各月の為替レートで換算したものの累積値となります。【出所】Bloomberg

本資料で使用している指数について

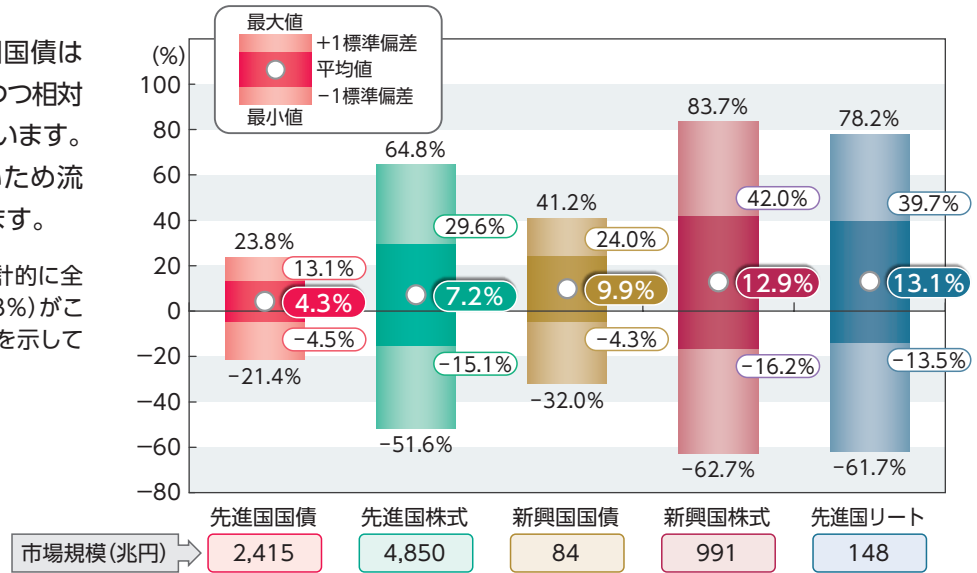
- シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスで、1984年12月末を100とする世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額比率で加重平均し、指数化したものです。
- シティ日本国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスです。
- MSCIワールド・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックス【出所:MSCI】:ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。
- J.P. Morgan EMBI Global Diversified:情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したものです。J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

安定した資産形成が期待できる先進国国債

主要資産の中で、先進国国債は一定のリターンを確保しつつ相対的にリスクが抑えられています。また、市場規模が大きいため流動性の面でも優れています。

(±1標準偏差の範囲は、統計的に全データの約3分の2(約68.3%)がこの範囲に分布していることを示しています。)

■ 主要資産の年間リターン(1997年12月~2015年5月、月次)と市場規模



先進国国債=シティ世界国債インデックス(円ベース、日本を含む)、先進国株式=MSCIワールド・インデックス(日本を含む)、新興国国債=J.P. Morgan EMBI Global Diversified、新興国株式=MSCIエマージング・マーケット・インデックス、先進国リート=S&P先進国REIT指数。各資産のリターンはそれぞれの指数を基に三菱UFJ国際投信が円換算(先進国国債を除く)計算したものです。市場規模は2015年5月末の時価総額です。

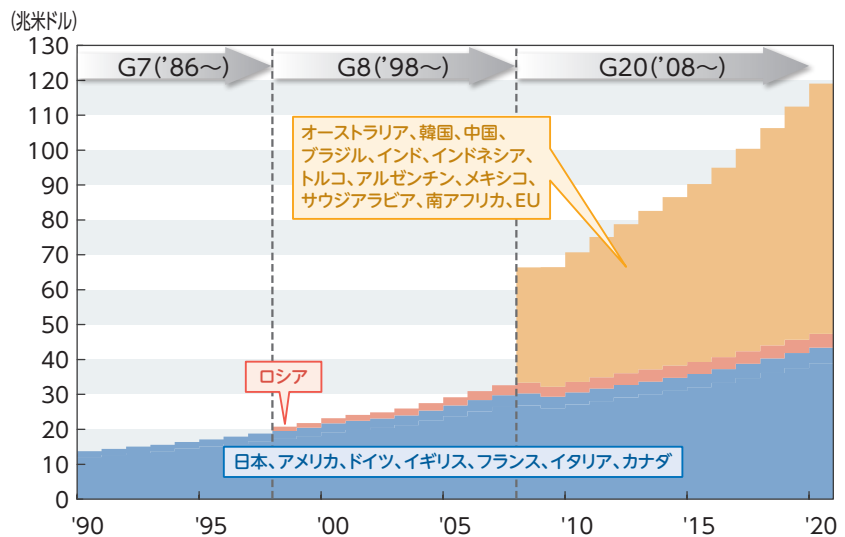
【出所】Bloomberg, MSCI, J.P. Morgan, S&P

拡大する先進国の枠組み

経済規模や信用力が向上する国が増え、世界経済の方向性を決定するサミット参加国が「G7」から「G20」へと拡大するなど、世界主要国の枠組みは大きく変化しています。

当ファンドは、こうした変化を捉えて、投資対象である先進国の枠組みを見直しています。

■ 世界主要国のGDPの推移



上記は、世界主要国の枠組みの変化を説明するものであり、当ファンドの投資対象国とは限りません。

上記は、購買力平価ベースの名目GDPで算出しています。2015年(アルゼンチン、中国、ドイツ、トルコ、ロシアは2014年)以降はIMFの予測値です。

【出所】IMF「World Economic Outlook 2015年4月号」

- S&P先進国REIT指数の所有権及びその他一切の権利は、スタンダード&プアーズ フィナンシャル サービスズ エル エル シーが有しています。三菱UFJ国際投信株式会社は、スタンダード&プアーズ フィナンシャル サービスズ エル エル シーとの間で同指数の算出・管理に関する契約を締結しています。スタンダード&プアーズ フィナンシャル サービスズ エル エル シーは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
- TOPIXは、(株)東京証券取引所及びそのグループ会社(以下、「東証等」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウは東証等が所有しています。なお、当ファンドは、東証等により提供、保証又は販売されるものではなく、東証等は、当ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

NISAに適したグロブの特徴

※本資料では、グローバル・ソブリン・オープン マザーファンドを「グロブ」ということがあります。

主要投資対象は
世界主要
先進国の
信用力の高い
ソブリン債券

グロブの投資対象は、社債や新興国債券等に比べ相対的に価格変動リスクが抑えられており、安定した投資成果を目指した資産運用に適していると考えられます。

現在の投資先の格付け状況(2015年5月29日現在)

国債		格付け	政府機関債・国際機関債等 州政府債					
カナダ	アメリカ	オーストラリア	ニュージーランド	AAA	ドイツ復興金融公庫(KfW)	国際復興開発銀行(世界銀行/IBRD)	欧州投資銀行(EIB)	北欧投資銀行(NIB)
ドイツ	ノルウェー	フィンランド	スウェーデン		欧州連合(EU)	アジア開発銀行(ADB)	国際金融公社(IFC)	
オランダ	イギリス	シンガポール			ブリティッシュ・コロンビア州	ビクトリア州		
フランス	ベルギー	日本		AA	欧州金融安定基金(EFSF)	クイーンズランド州	オンタリオ州	ケベック州
メキシコ	ポーランド	アイルランド		A				

上記は、グローバル・ソブリン・オープン マザーファンドの投資先です。

上記の投資先は将来変更となる可能性があります。

格付け(自国通貨建長期債務格付け等)は、Moody's社とS&P社の格付けのうち、上位の格付けをS&P社の表示方法で表記しています。

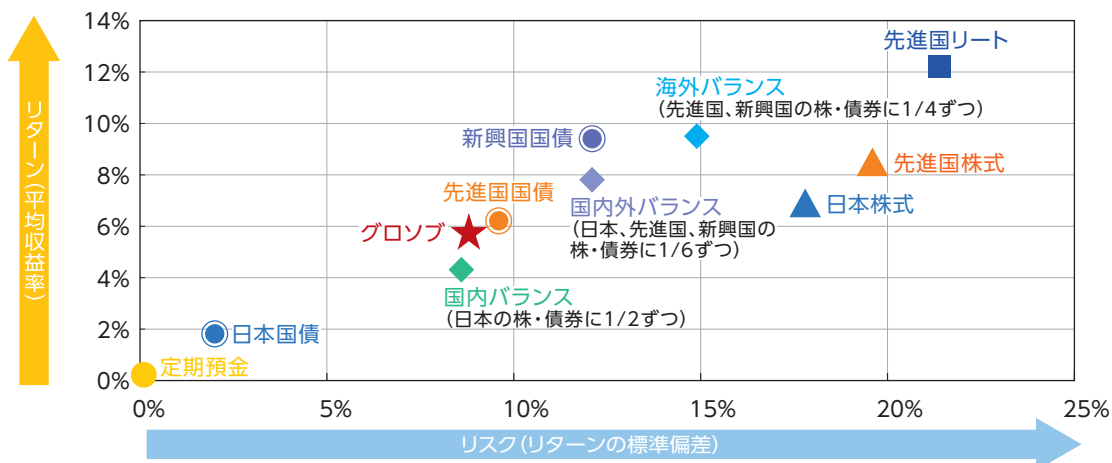
格付けは、今後の政治、経済、社会情勢等により変更されることがあります。

【出所】Bloomberg

ミドルリスク・
ミドルリターン
で目指す
着実な
資産形成

グロブは、金利・為替見通しに基づく運用戦略により、高水準かつ安定的なインカムゲインの確保を目指した運用を実践しています。

主要資産とグロブのリスク・リターン(2001年12月~2015年5月、月次)



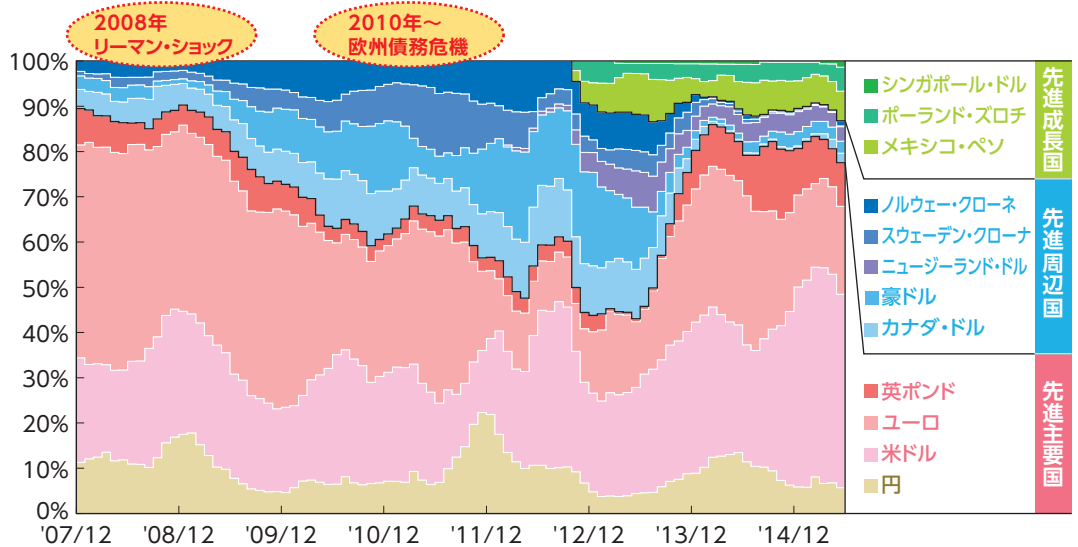
先進国国債=シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)、先進国株式=MSCIワールド・インデックス(除く日本)、新興国国債=J.P. Morgan EMBI Global Diversified、新興国株式=MSCIエマージング・マーケット・インデックス、日本国債=シティ日本国債インデックス、日本株式=TOPIX、先進国リート=S&P先進国REIT指数。各資産のリスク・リターンはそれぞれの指数を基に三菱UFJ国際投信が円換算し(先進国国債、日本国債、日本株式を除く)、月次騰落率を年率換算した値を基に計算したものです。グロブはグローバル・ソブリン・オープン マザーファンド(信託報酬なし)のリスク・リターンです。定期預金は預入金額1千万以上、3ヵ月以上6ヵ月未満の定期預金新規受入平均金利(年率)を使用しています(直近値は2015年3月)。

【出所】Bloomberg, MSCI, J.P. Morgan, S&P, 日本銀行

通貨分散による為替変動リスクのコントロール

グロソブは、金融危機への対応や、金融危機後の積極運用など、景気や投資環境の変化に合わせて機動的に通貨配分を変更しています。

金融危機後の通貨別組入比率の推移 (2007年12月～ 2015年5月、月次)

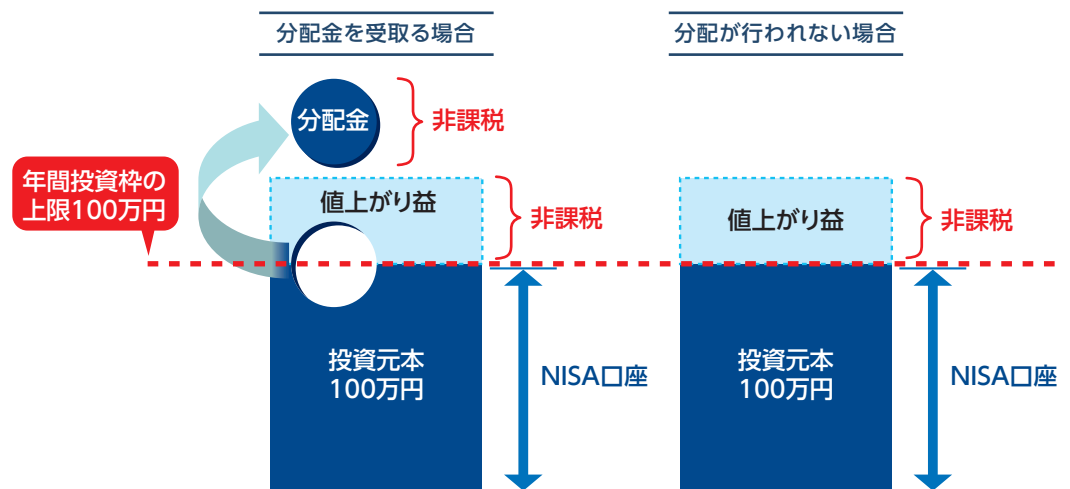


上記は、グローバル・ソブリン・オープン マザーファンドの通貨別組入比率です。ユーロにはデンマーク・クローネを含みます。
 「先進主要国」「先進周辺国」「先進成長国」とはグロソブの運用戦略において三菱UFJ国際投信が定義したものです。

分配方針の違いで選ぶNISAの活用方法

NISAでは、年間100万円までの投資元本から生じる分配金も値上がり益も非課税になります。グロソブNは、投資元本の十分な成長を目指し、収益の分配を行わないことがあります。

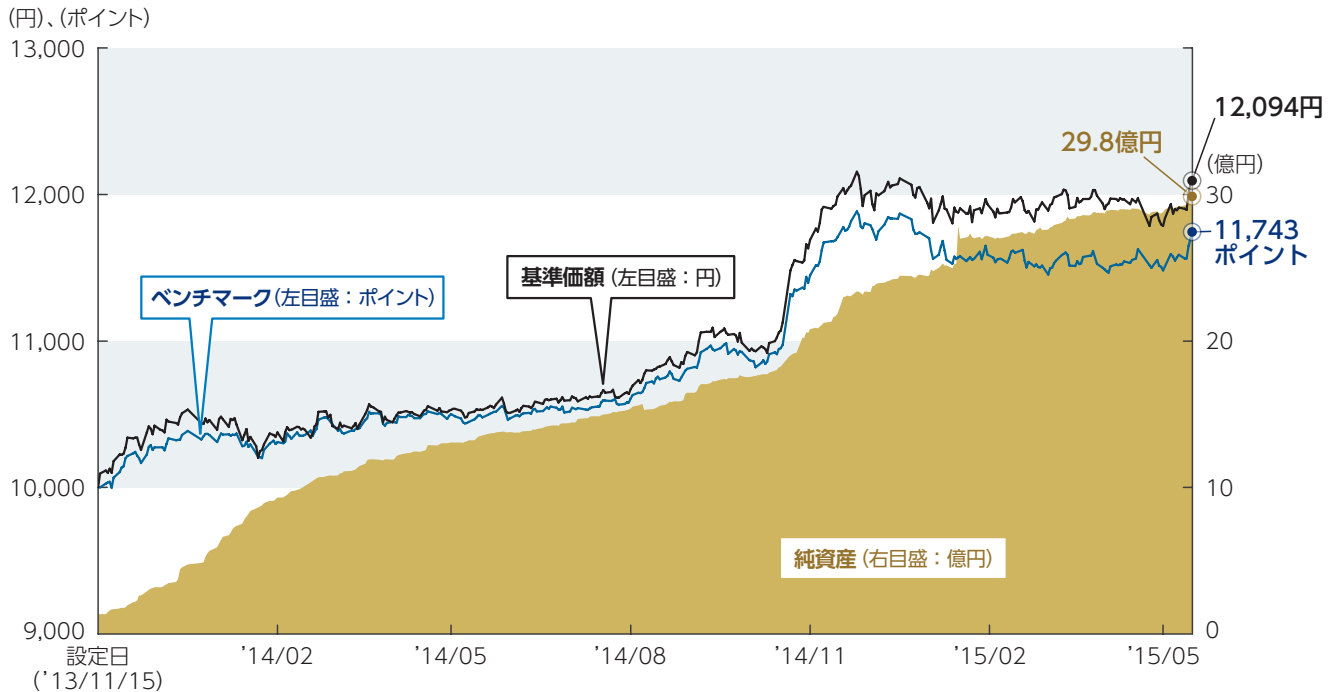
NISAでの投資イメージ



上記はイメージ図です。分配金については、将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。元本払戻金(特別分配金)の場合、分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。また、元本払戻金(特別分配金)はそもそも非課税であり、NISAにおいては制度上のメリットを享受できません。制度の内容は2015年5月末現在のものであり、将来変更になる可能性があります。

グローバル・ソブリン・オープン(資産成長型) 愛称:グロソブN

基準価額・純資産等の推移

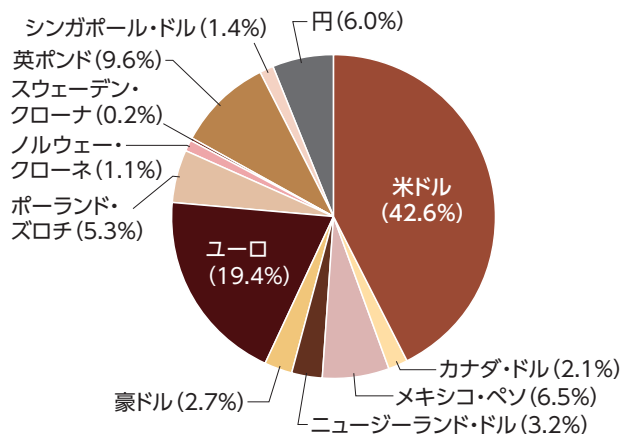


設定来の分配の推移(1万口当たり、課税前)

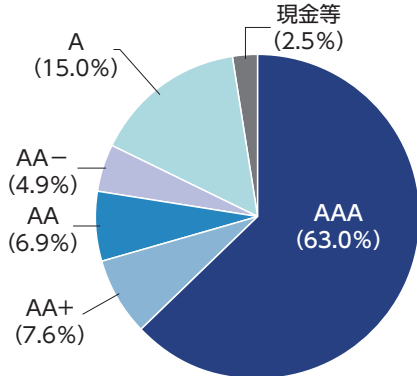
第1期 ('14/11)	設定来累計
0円	0円

ポートフォリオの状況

通貨別組入比率



格付け別組入比率

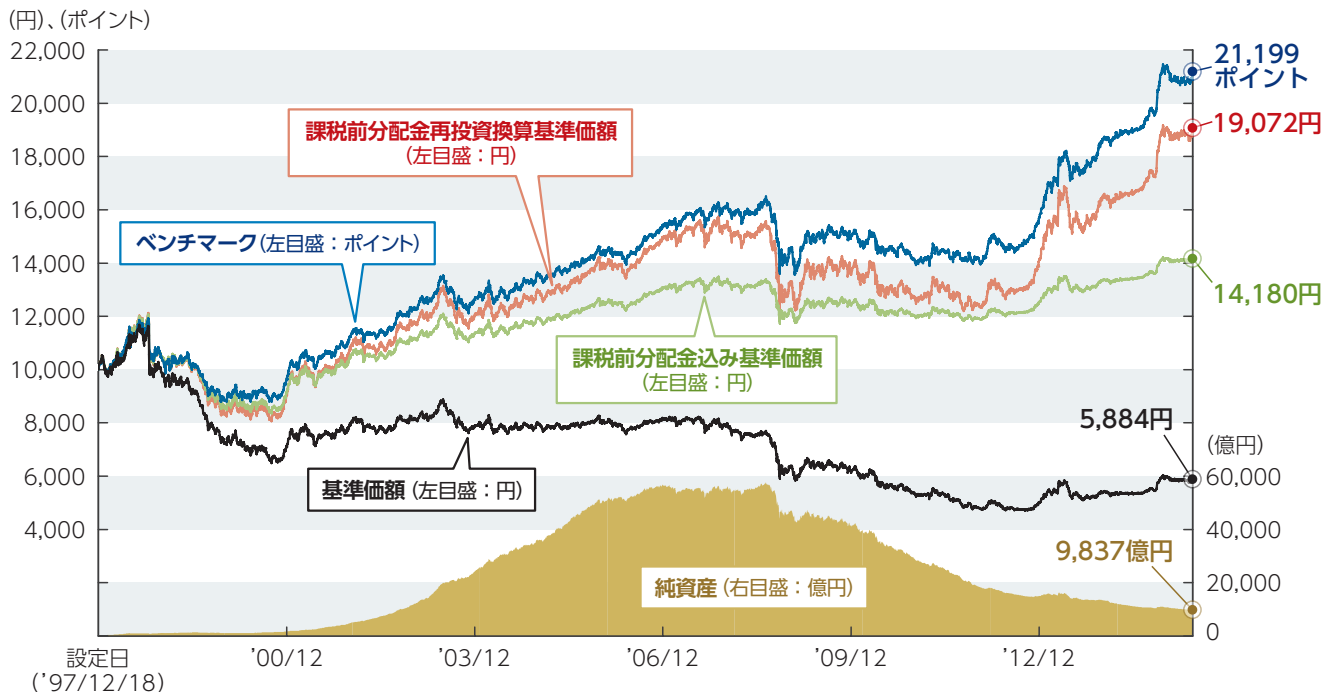


【出所】Bloomberg

●当ファンドはシティ世界国債インデックス(円ベース、日本を含む)をベンチマークとします。●ベンチマークはシティ世界国債インデックス・データ【出所:Bloomberg】に基づき、当ファンド設定日(2013年11月15日)を10,000ポイントとして三菱UFJ国際投信が指数化し計算したものです。ベンチマークは基準価額との関連を考慮して、期日の前営業日の値を用いています。また、当ファンドとは為替評価時点に差がありますので、ご注意ください。●ベンチマークの情報はあくまで参考情報として記載しており、当ファンドの運用実績ではありません。●基準価額(1万口当たり)は、信託報酬控除後のものです。●将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。●比率とは、当ファンドの純資産に対する比率(未収利息等を含みます。)であり、マザーファンドの組入比率に基づき算出した実質ベースの数値で表記しています。●現金等には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。●四捨五入の影響により、合計が100%にならない場合があります。●通貨別組入比率のグラフは、当該通貨建の国債および政府機関債等を含みます。●格付け別組入比率のグラフは、国債および政府機関債等を含みます。●政府機関債等には国際機関債も含まれます。●格付けはMoody's社とS&P社の格付けのうち、上位の格付けをS&P社の表示方法で表記しています。

グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)

基準価額・純資産等の推移

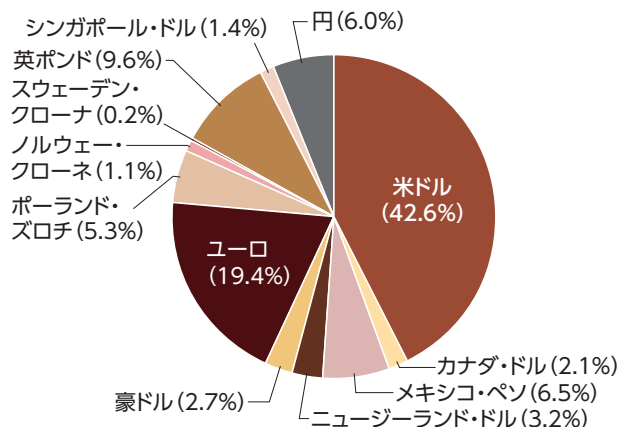


■ 設定来の分配の推移 (1万口当たり、課税前)

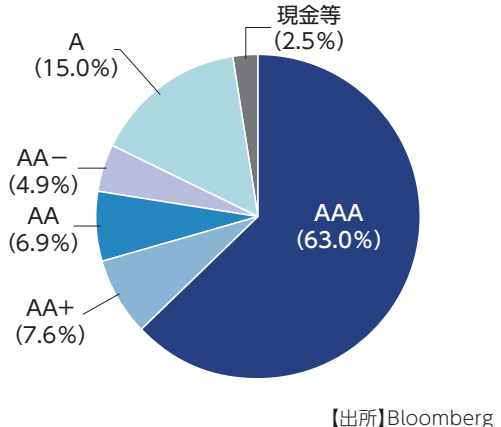
第1期 ('98/1)	第2期-第3期 ('98/2-'98/3)	第4期-第5期 ('98/4-'98/5)	第6期-第7期 ('98/6-'98/7)	第8期-第36期 ('98/8-'00/12)	第37期-第132期 ('01/1-'08/12)	第133期-第139期 ('09/1-'09/7)	第140期-第192期 ('09/8-'13/12)	第193期-第209期 ('14/1-'15/5)	設定来累計
51円	35円	45円	50円	60円	40円	30円	35円	20円	8,296円

ポートフォリオの状況

■ 通貨別組入比率



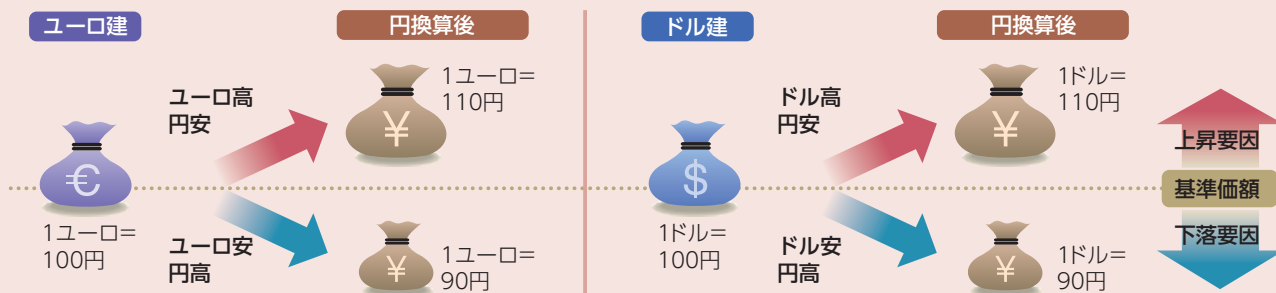
■ 格付け別組入比率



●当ファンドはシティ世界国債インデックス(円ベース、日本を含む)をベンチマークとします。●ベンチマークはシティ世界国債インデックス・データ【出所: Bloomberg】に基づき、当ファンド設定日(1997年12月18日)を10,000ポイントとして三菱UFJ国際投信が指数化し計算したものです。ベンチマークは基準価額との関連を考慮して、期日の前営業日の値を用いています。また、当ファンドとは為替評価時点に差がありますので、ご注意ください。●ベンチマークの情報はあくまで参考情報として記載しており、当ファンドの運用実績ではありません。●基準価額(1万口当たり)は、信託報酬控除後のものです。●課税前分配金再投資換算基準価額は、当ファンドの公表している基準価額に各収益分配金(課税前)をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、三菱UFJ国際投信が公表している基準価額とは異なります。●課税前分配金込み基準価額は、基準価額に設定来の課税前分配金累計を加算したものです。●将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。●比率とは、当ファンドの純資産に対する比率(未収利息等を含みます。)であり、マザーファンドの組入比率に基づき算出した実質ベースの数値で表記しています。●現金等には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。●四捨五入の影響により、合計が100%にならない場合があります。●通貨別組入比率のグラフは、当該通貨建の国債および政府機関債等を含みます。●格付け別組入比率のグラフは、国債および政府機関債等を含みます。●政府機関債等には国際機関債も含まれます。●格付けはMoody's社とS&P社の格付けのうち、上位の格付けをS&P社の表示方法で表記しています。

為替変動リスク

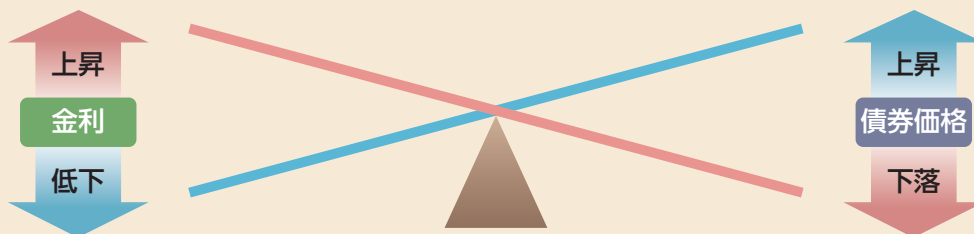
当ファンドは、主にユーロ建や米ドル建等の外貨建の有価証券に投資しています（ただし、これらに限定されるものではありません。）。投資している有価証券の発行通貨が円に対して強く（円安に）なれば当ファンドの基準価額の上昇要因となり、弱く（円高に）なれば当ファンドの基準価額の下落要因となります。



金利変動リスク

投資している債券の発行通貨の金利水準が上昇（低下）した場合には、一般的に債券価格は下落（上昇）し、当ファンドの基準価額の変動要因となります。また、組入債券の残存期間や利率等も価格変動に影響を与えます。例えば、金利水準の低下を見込んで残存期間が長い債券の組入比率を大きくしている場合等には、金利変動に対する債券価格の感応度が高くなり、当ファンドの基準価額の変動は大きくなります。

金利変動による
債券価格の変動
イメージ



信用リスク

原則として格付けがA格以上のソブリン債券に投資しますが、投資している国の経済情勢の変化や各投資対象の格付けの変更により、債券価格が変動し、当ファンドの基準価額も変動します。

上記のリスクは主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。
くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

◆投資信託(ファンド)の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

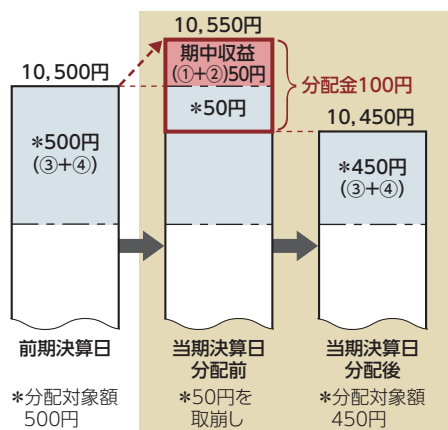
投資信託から分配金が支払われるイメージ



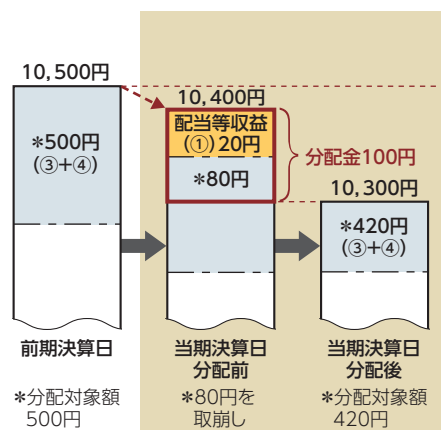
◆分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて、分配金が支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合(イメージ)



前期決算日から基準価額が下落した場合(イメージ)



分配金は、収益分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

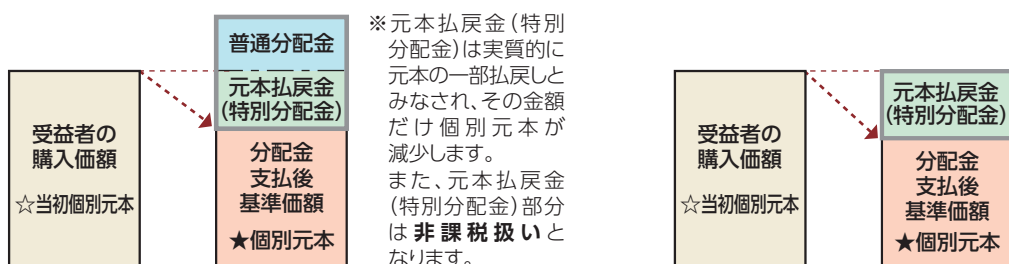
- 期中収益に該当する部分：①配当等収益(経費控除後) ②有価証券売買益・評価益(経費控除後)
- 期中収益に該当しない部分：③分配準備積立金 ④収益調整金

上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

◆受益者のファンドの購入価額(個別元本)によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

手続・手数料等

お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ 株式会社りそな銀行・株式会社埼玉りそな銀行・株式会社近畿大阪銀行でお申込みの場合



お申込みメモ

購入時	購入単位	(当初元本1口=1円) 1万円以上1円単位 *収益分配金は「再投資」と「定期引出」のご選択が可能です。「定期引出」を希望されるお客さまは、別途定期引出契約をお申込みください。
	購入価額	購入受付日の翌営業日の基準価額
換金時	換金単位	販売会社が定める単位
	換金価額	換金受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額*を差引いた価額 *換金受付日の翌営業日の基準価額に 0.5% をかけた額とします。
	換金代金	原則として、換金受付日から起算して5営業日目から、販売会社にてお支払いします。
申込について	換金制限	当ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求には制限を設ける場合があります。
	信託期間	無期限(「資産成長型」:平成25年11月15日設定、「毎月決算型」:平成9年12月18日設定)
その他	繰上償還	当ファンドの受益権の総口数が、当初設定時の10分の1または30億口を下回ることとなった場合等には、繰上償還されることがあります。
	決算日	「資産成長型」:毎年11月17日(休業日の場合は翌営業日) 「毎月決算型」:毎月17日(休業日の場合は翌営業日)
	収益分配	「資産成長型」:毎年(年1回)、「毎月決算型」:毎月(年12回)、収益分配方針に基づいて分配を行います。 販売会社との契約により再投資することも可能です。
	課税関係	課税上の取扱いは株式投資信託となります。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象です。 くわしくは、販売会社にお問い合わせください。 *配当控除および益金不算入制度の適用はありません。



ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入受付日の翌営業日の基準価額に対して、以下の手数料率がかかります。				
	取得申込総金額に応じて	5,000万円未満	5,000万円以上1億円未満	1億円以上3億円未満	3億円以上
	手数料率	1.62%(税込) (1.50%(税抜))	1.08%(税込) (1.00%(税抜))	0.54%(税込) (0.50%(税抜))	なし
*収益分配金の再投資の際には購入時手数料はかかりません。					
信託財産留保額	換金受付日の翌営業日の基準価額に 0.5% をかけた額とします。				

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 年率1.350%(税込) (年率1.250%(税抜))をかけた額とします。
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券等の売買・保管、信託事務にかかる諸費用等についても当ファンドが負担します。 監査費用は、日々の純資産総額に対して、年率0.00432%(税込)(年率0.00400%(税抜))以内をかけた額とします。 *監査費用以外のその他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、「資産成長型」は毎計算期間の最初の6か月終了時、毎決算時または償還時、「毎月決算型」は毎決算時または償還時に当ファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。

委託会社およびファンドの関係法人

委託会社/三菱UFJ国際投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会:一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会
 受託会社/株式会社りそな銀行
 (再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
 投資顧問会社/ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社
 販売会社/株式会社りそな銀行、株式会社埼玉りそな銀行、株式会社近畿大阪銀行 他
 他の販売会社の照会先は以下の通りです。

三菱UFJ国際投信株式会社

☎0120-759311(フリーダイヤル)

受付時間/営業日の9:00~17:00

●ホームページアドレス: <http://www.am.mufg.jp/>

本資料に関してご留意頂きたい事項

本資料は三菱UFJ国際投信が作成した販売用資料です。投資信託の取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)を販売会社よりお渡します。必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。なお、以下の点にもご留意ください。

○投資信託は預金等や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。○銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。○本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。○本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合があります。○本資料は信頼できると判断した情報等をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性等を保証するものではありません。